平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名　東邦化学工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4409　URL　http://www.toho-chem.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中崎　龍雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長　(氏名) 井上　豊　TEL 03-5550-3735

四半期報告書提出予定日　平成24年8月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,791	1.1	187	△49.1	90	△66.1	34	△72.3
24年3月期第1四半期	8,692	3.5	368	20.6	267	4.9	126	34.3

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　116百万円　(△55.1%)　24年3月期第1四半期　259百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	1.64	―
24年3月期第1四半期	5.91	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	42,857	8,143	18.9
24年3月期	42,962	8,155	18.9

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　8,085百万円　24年3月期　8,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	6.00	6.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		0.00	―	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	1.0	430	△29.0	250	△37.1	120	△34.2	5.62
通期	37,000	3.3	1,360	15.8	1,000	30.1	540	234.2	25.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	21,350,000 株	24年3月期	21,350,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	14,947 株	24年3月期	14,947 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	21,335,053 株	24年3月期1Q	21,336,175 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間の我が国経済は、エコカー補助金や震災復興などの特需に支えられ緩やかな回復が続きました。しかし、欧州債務問題の混迷から、中国をはじめとする新興国経済の減速や円高圧力の高まり、また夏場の電力不足の問題などの懸念材料が多く、先行き不透明な経営環境が続くものと思われます。

化学業界におきましても、海外経済の減速から石油化学製品の需要が低迷、企業は、円高による輸出競争力の低下から設備の廃棄や海外生産へのシフトなど厳しい対応を迫られております。

このような経営環境下、当社グループの売上高は、主力の界面活性剤セグメントのトイレタリー用界面活性剤や土木建築用薬剤、樹脂セグメントの石油樹脂等の一部の分野は増収となったものの、一方で、化成品やスペシャリティーケミカルの各セグメントは需要が全般的に低調で苦戦いたしました。その結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比99百万円、1.1％増収の87億91百万円となりました。

利益面は、売上高の伸び悩みと前期完成した設備の減価償却費の増加および一部製品の減産の影響により大幅な減益となりました。その結果、当第１四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期比１億81百万円減益の１億87百万円、経常利益は、前年同期比１億76百万円減益の90百万円、四半期純利益は、前年同期比91百万円減益の34百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

（界面活性剤）

トイレタリー用界面活性剤は、前年同期に原材料不足の問題で大きく落ち込んだ一般洗浄剤の大幅な回復を主因に増収となりました。プラスチック用界面活性剤は、主力の帯電防止剤を始め全般的に低調で減収となりました。土木建築用薬剤は、引き続きコンクリート用混和剤関連製品が好調で増収となりました。紙パルプ用界面活性剤は、サイズ剤が振るわず若干の減収となりました。農薬助剤は、海外需要向けが堅調で増収となり、繊維助剤は、ほぼ横這いでした。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比５億61百万円、13.2％増収の48億25百万円となり、セグメント利益は、前年同期比１億88百万円増益の２億31百万円となりました。

（樹脂）

石油樹脂は、前年同期に原材料不足による減産で落ち込んだこともあり、大幅な増収となりました。樹脂エマルションは、フロアーポリッシュ用および鋼板用表面処理剤が共に振るわず減収となりました。合成樹脂は、若干の増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比１億30百万円、17.0％増収の８億94百万円となり、セグメント利益は、６百万円（前年同期はセグメント損失35百万円）となりました。

（化成品）

合成ゴム・ＡＢＳ樹脂用ロジン系乳化重合剤は、海外販売向けが振るわず大幅な減収となりました。金属加工油剤は、水溶性切削油を中心に若干の増収となりましたが、石油添加剤は、横這いに止まりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比５億79百万円、34.9％減収の10億80百万円となり、セグメント利益は、前年同期比１億24百万円減益の24百万円となりました。

（スペシャリティーケミカル）

溶剤は、ＩＴ関連事業向けの特殊溶剤や医薬品製造用溶剤が低調で減収となりました。アクリレートは、大口ユーザーの中国向け需要の回復が鈍く、また、電子・情報産業用の微細加工用樹脂は、開発案件の進捗の遅れから、各々若干の増収に止まりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比13百万円、0.7％減収の19億70百万円となり、セグメント損失は、60百万円（前年同期はセグメント損失24百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は428億57百万円と前年同期比１億５百万円の減少となりました。その内訳は、流動資産が７億64百万円減少の221億44百万円、固定資産が６億59百万円増加の207億12百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が１億15百万円の減少、受取手形及び売掛金が１億48百万円の減少、たな卸資産が３億59百万円の減少です。固定資産の主な増減要因は、有形固定資産が６億88百万円の増加、投資その他の資産が59百万円の減少です。

一方、負債合計は、347億13百万円と前年同期比93百万円の減少となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金が３億31百万円の減少、短期借入金が３億51百万円の増加、未払法人税等が１億37百万円の減少、賞与引当金が１億87百万円の減少、長期借入金が２億40百万円の増加です。

純資産は、81億43百万円と前年同期比11百万円の減少となりました。主な増減要因は、利益剰余金が配当金の支払と四半期純利益との差額の93百万円の減少、その他の包括利益累計額が77百万円の増加です。

その結果、自己資本比率は18.9％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年５月11日の「平成24年３月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第２四半期(累計)および通期の連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,847	5,731
受取手形及び売掛金	9,535	9,386
たな卸資産	6,724	6,365
その他	802	661
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	22,909	22,144
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,283	7,221
機械装置及び運搬具（純額）	3,228	3,100
土地	3,319	3,319
建設仮勘定	1,251	2,169
その他（純額）	1,683	1,644
有形固定資産合計	16,766	17,454
無形固定資産	662	691
投資その他の資産	2,624	2,565
固定資産合計	20,053	20,712
資産合計	42,962	42,857

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,400	7,069
短期借入金	5,532	5,883
未払法人税等	166	28
賞与引当金	322	135
その他	3,465	3,856
流動負債合計	16,887	16,974
固定負債		
社債	4,320	3,920
長期借入金	9,036	9,276
退職給付引当金	2,838	2,879
役員退職慰労引当金	144	117
資産除去債務	56	56
その他	1,523	1,488
固定負債合計	17,919	17,739
負債合計	34,807	34,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	5,394	5,301
自己株式	△3	△3
株主資本合計	8,042	7,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172	111
為替換算調整勘定	△113	24
その他の包括利益累計額合計	58	135
少数株主持分	54	58
純資産合計	8,155	8,143
負債純資産合計	42,962	42,857

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	8,692	8,791
売上原価	7,307	7,574
売上総利益	1,384	1,216
販売費及び一般管理費	1,015	1,028
営業利益	368	187
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	17	19
物品売却益	8	7
その他	9	5
営業外収益合計	35	33
営業外費用		
支払利息	79	90
その他	57	40
営業外費用合計	137	130
経常利益	267	90
特別損失		
固定資産廃棄損	2	0
投資有価証券評価損	－	10
災害による損失	52	－
特別損失合計	54	11
税金等調整前四半期純利益	212	78
法人税等	78	42
少数株主損益調整前四半期純利益	134	35
少数株主利益	7	1
四半期純利益	126	34

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	134	35
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	△61
為替換算調整勘定	146	141
その他の包括利益合計	125	80
四半期包括利益	259	116
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	247	111
少数株主に係る四半期包括利益	11	4

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	界面活性剤	樹脂	化成品	スペシャリティーケミカル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,264	764	1,659	1,984	8,672	19	8,692	―	8,692
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	46	46	△46	―
計	4,264	764	1,659	1,984	8,672	66	8,738	△46	8,692
セグメント利益又は損失（△）	42	△35	148	△24	131	6	138	230	368

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析および物流倉庫業務等を含んでおります。
２．セグメント利益又は損失（△）の調整額230百万円には、棚卸資産の調整額176百万円等が含まれております。
３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年６月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	界面活性剤	樹脂	化成品	スペシャリティーケミカル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,825	894	1,080	1,970	8,771	19	8,791	―	8,791
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	54	54	△54	―
計	4,825	894	1,080	1,970	8,771	74	8,845	△54	8,791
セグメント利益又は損失（△）	231	6	24	△60	201	10	212	△24	187

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析および物流倉庫業務等を含んでおります。
２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△24百万円には、棚卸資産の調整額△５百万円等が含まれております。
３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。